2019年を彩る「注目製品・トピックス」

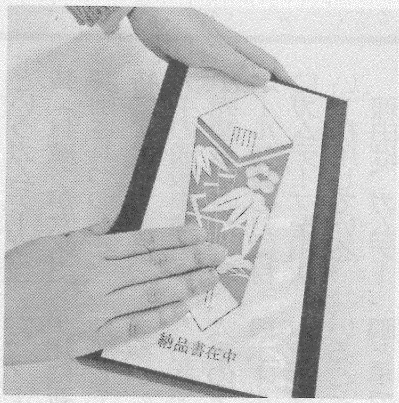
パピルスカンパニー
熨斗など印刷したデリバリーパック
副資材の管理・作業効率化に貢献

パピルスカンパニー（神戸市中央区）は、デリバリーパックに「熨斗印刷入」や「荷札タイプ」などを新たなラインアップとして加えた。出荷現場の作業効率アップや、荷受人の利便性アップといったニーズに応える。

デリバリーパックは段ボールケースに納品書や請求書といった書類を貼り付けできる袋。今回新たにラインアップした「熨斗印刷入」や「荷札タイプ」によって荷札シールの役割を担う。従来、出荷物の識別や注意喚起に使用している荷札シールや荷札テープは、このデリバリーパックとは別に貼り付けが必要だった。そこで、あらかじめデリバリーパックに印刷することで、シール貼り付けの手間を省略できる。

また「完全密封タイプ」ミシン目開封仕様」は、貼り付け後に伝票が飛び出すおそれがないため安心して荷受けができる。さらにミシン目開封仕様の場合、中身の取り出しはミシン目から開ければ良いだけの簡便な仕様となっている。

同社ではこのほかの既製品に加え、オーダーメイドの特注も受け付けている。中国に自社工場を持ち、一括生産を行うため、比較的安価なコストで提供ができる点も強みとしている。



使用方法は通常のデリバリーパックと同じ